

## 平成30年度第2回IHノミネート審判員研修会 木葉先生による講話内容

審判委員会育成指導部

### 【IH・国体を迎えるにあたって】

- 47年に1回しかない → 鹿児島のこの年代のレフリーは、たまたまこのタイミング
- ・できるだけ地元のレフリーを(外されることを考えず、そこに立てると信じて取り組む)

### ～～では、これからどのようなところを意識するか～～

#### ☆基本的なことを基本的に☆

- ・鹿児島県のB級同士で割り当ててことはない。
  - 他県の上級の方とクルーになる。
  - 基本的なことがきちんとできる。(コミュニケーション/ルール/マニュアル)
- ・上級のように、ゲームコントロールまで求めている。目の前のこと、当たり前前のことを。
- ・基本的なことを基本的にできる。チームとして審判ができる。2POでも3POでも、クルーの一員として仲間になれる。

#### ☆体調管理☆

- ・IHは夏に行われる。最近ではエアコンの効く会場も多いが・・・
- 体調管理/自己管理ができないとIHのレフリーはできない。

#### ☆自分がその場に立つこと以上に☆

- ・自分がその場に立つこと < その選手・そのチームの将来を左右する
  - 人生を背負っている可能性を忘れない/一つの笛で変わる
  - 丁寧に/一生懸命

※ そういう場に立てることが幸せ！！(辛いけど・・・)

#### ☆IH・国体の違い☆

- ・競技する団体が違う/雰囲気は全く違う
  - 観客の数も違う・・・その中の意識
  - ※ どういうゲームでも、体育館の隅々までいる人に自分が何をコールしたかが伝わること。TOだけ/選手だけでなく、観客がたくさんいる状況で分かりやすいシフリングをする。

#### ☆講習会にて☆

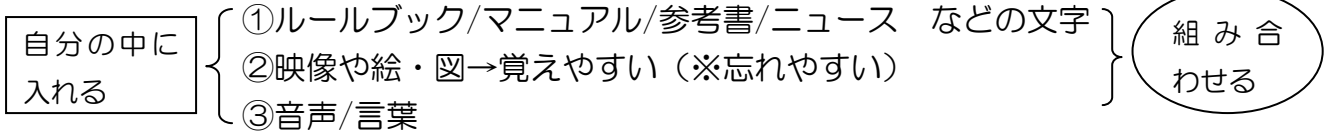
- ・OOさんはこういうところが判定できる/こういうところが苦手→分かるほうがいい
- ・強いところや弱いところがあるといい。そこを理解する。どんなに悪くても60点を。

【判定力を高めるために】

○ ゲーム前 ○ コートの中 ○ ゲーム後 のポイント

☆ゲーム前☆

・『情報』・・・正しいことを正しく覚える

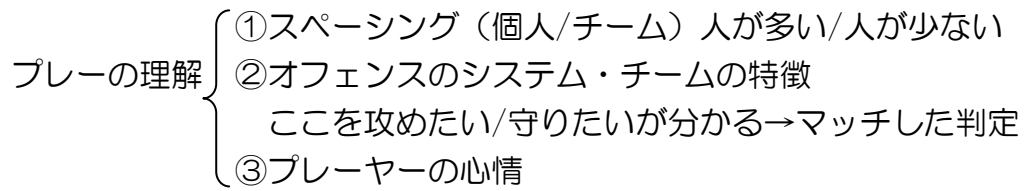


◎自分のルールブックに置き換える！！

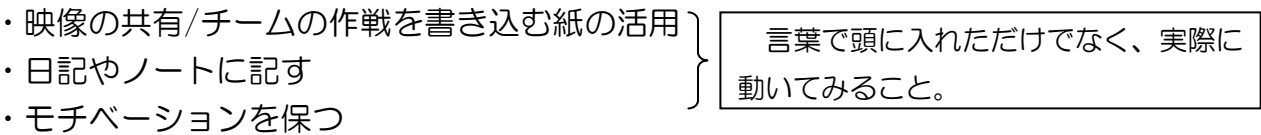
- ※理由（裏側を読み取る）→なぜそういうルールか？/なぜそういうマニュアルか？  
ex ショットクロックが30秒から24秒に。なぜ??など
- ※フィーリング（ショット動作でFTなのかスローインなのか?など）
- ※困ったら、『原文』に帰る。（FIBAの原文）→最新のルールブック
- ※言われたままではなく、疑って（否定して）みて、考察して、納得する
- ※情報の簡素化（キーワードを持つ）
- ※キーとなるケース（たくさん起こるケース）をしっかりと判定
- ※リハーサル（鏡で見る/自分の映像で見る/他者のゲームを見る）

☆コートの中☆

・『情報』・・・ポジション/時間→その場に応じたもの



☆ゲーム後☆



◎ゲーム前につなげる！！

